

2019 年度ハドロキッズチーム 第 7 回

むかわ町子ども化石くらぶ「ハドロキッズチーム」第 7 回を 2 月 23 日（日）に開催しました。第 7 回は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、会員児童によるポスター発表と修了式を穂別町民センターで開催しました。



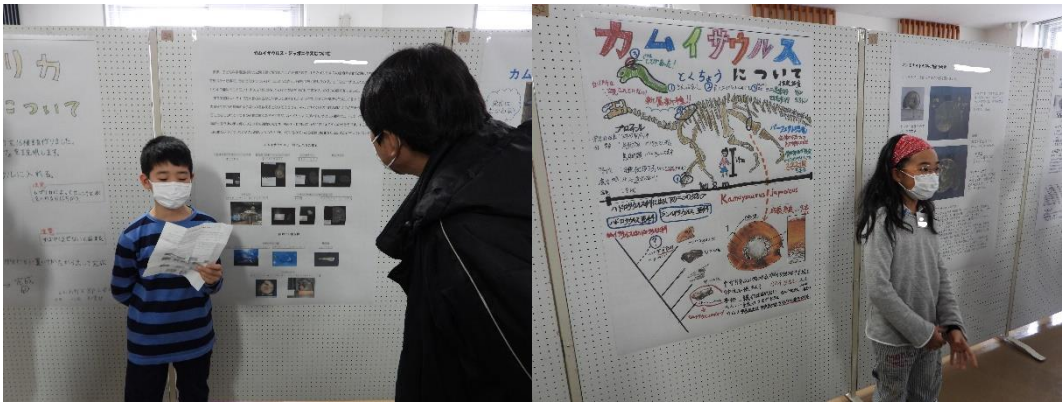
開会時の様子。

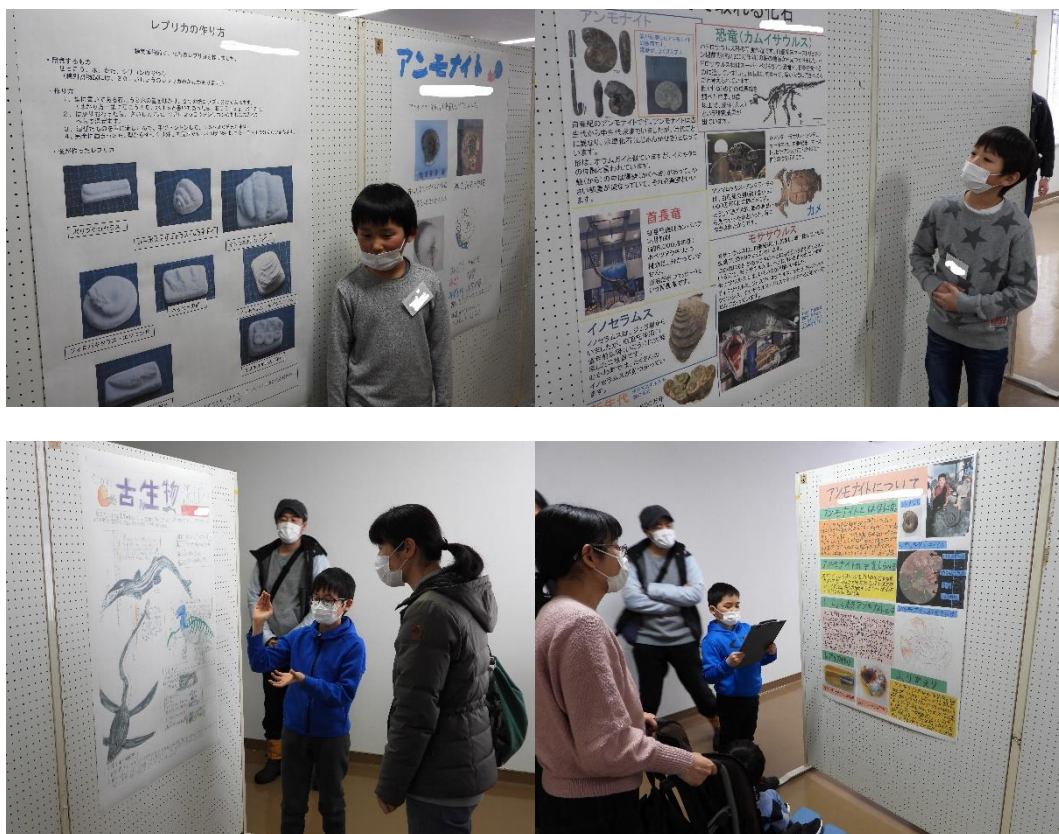
35 名の会員と保護者の方々が出席され、まずは、会員児童が化石のレプリカ作りを行いました。レプリカ型は全部で 32 種類ありますが、一度に参加する児童が多かったため、一人 2 つまでの製作としました（希望者は全行程終了後にもレプリカづくりにがんばっていました）。



化石レプリカづくり。

昼食後は、会員児童によるポスター発表で、2 グループに分かれて行いました。事前に提出されたポスターを A0 サイズに拡大印刷し、掲示しました。会員児童には、保護者や博物館スタッフ、および一般の来場者にポスターの制作内容を説明してもらいました。





会員児童のポスター発表の様子。

発表後には、穂別博物館の西村学芸員が講評をしました。ポスター発表は初めての試みでしたが、どの会員もととてもよくまとめられていました。

引き続き、穂別博物館の1年間の活動報告として、発表された論文の紹介に続き、クリーニング中である大きくて迫力あるモササウルスやウミガメの化石など複数の未公開の化石を紹介しました。

次に、会員の中から、夏・冬休み中に自由研究をされた4名に発表をしていただきました（紙粘土で作ったカムイサウルスの骨格や採集した化石など）。





児童の作品・化石発表

最後に、修了式が行われました。2019年度のハドロキッズチームの活動はこれで終了となります。遠方から来られた方も多く、送迎・移動には大変なご苦労があったと思います。各回の運営にご理解・ご協力していただきありがとうございます。次年度の活動にもご参加くださるようご期待しております。



むかわ町役場穂別総合支所の斉藤支所長から修了証を授与しました。

穂別博物館学芸員 西村智弘・地域おこし協力隊 中田幸宏
(画像は一部加工をしています)